

3 ロジックモデル

番号	個別施策	番号	施策の効果	番号	目指す姿
A	病院が実施する耐震化診断・工事や発電機整備に対する助成	①	未耐震の施設を有する医療機関が行う耐震化整備の促進	1	災害急性期（発災後48時間以内）において必要な医療が確保される体制の構築
		指標	病院の耐震化率		
B	病院・有床診療所におけるスプリンクラー設備設置に対する助成	②	病院の自家発電機の整備や燃料備蓄（3日分）の促進	2	災害急性期を脱した後も患者や住民の健康が確保される体制の構築
		指標	病院の自家発電機の燃料の備蓄（3日分）の実施率		
C	病院を対象とした業務継続計画に係る研修会の開催や取組み事例の紹介	③	病院・有床診療所におけるスプリンクラー設備設置の促進	●	
		指標	スプリンクラー設置義務を有する病院・有床診療所における、未設置施設数		
D	浸水想定区域に所在する病院における止水・浸水対策に対する助成	④	被災後の早期の診療機能復帰に向けた業務継続計画の策定と、策定された業務継続計画に基づく研修及び訓練の実施	●	
		指標	病院における業務継続計画策定率		
E	EMISに加入する医療機関と保健所において、予め指定された入力担当者を対象としたEMIS入力訓練、操作研修を実施	指標	業務継続計画を策定している病院のうち被災した状況を想定した災害実動訓練を実施している病院の割合	●	
		⑤	浸水想定区域に所在する病院における風水害を想定した実効性の高い業務継続計画の策定及び止水対策・浸水対策の実施		
F	岐阜DMAT指定病院が保有するDMATの保持やチーム間の連携強化、DPAT先遣隊を含む岐阜DPATの体制整備の強化など、円滑な派遣の実施に向けた具体的な対策を検討	指標	浸水想定区域に所在する病院のうち浸水を想定した業務継続計画を策定している病院の割合	●	
		⑥	EMISを用いた被害状況等の情報発信ができるよう、使用方法に精通した病院職員の育成		
G	医療従事者に向け、感染症対策や患者対応に関する訓練・研修を実施 新興感染症等の感染拡大時に対応可能なDMAT隊員及びDPAT隊員を養成	指標	浸水想定区域に所在する病院において、浸水対策を講じている病院の割合	●	
		⑦	EMISの操作を含む研修・訓練を実施している病院の割合		
H	災害医療コーディネーター体制を維持するため、県災害対策本部及び各支部において、災害医療コーディネーター及び災害時小児周産期リエゾン の連絡会議や研修、訓練等を定期的に開催	指標	DMAT感染研修を受講したDMAT隊員の隊員数	●	
		⑧	新興感染症等の感染拡大時に対応可能な医療従事者やDMAT・DPAT隊員の養成		
I	被災地の医薬品等や薬剤師及び薬事・衛生面に関する情報の把握やマッチング等を行う災害薬事コーディネーターを任命するため、養成研修を実施	指標	DMAT養成研修受講者数	●	
		⑨	災害医療コーディネーターチームの平時からの連携体制の構築と、県災害対策本部及び各地域での災害医療コーディネーターや災害時小児周産期リエゾンが参加する継続的な研修・訓練の実施		
J	歯科医療救護活動の調整を行うために必要な専門家（災害歯科コーディネーター）の設置等の体制を検討	指標	災害医療チーム等の受入や広域医療搬送を想定し、都道府県本部で関係機関との連携の確認を行う災害訓練の実施回数	●	
		⑩	災害薬事コーディネーターの任命と災害時における活用の仕組みの構築		
K	災害時においても精神疾患を有する患者の受入れや一時的避難場所としての機能を果たすことができるよう、災害拠点精神科病院の指定に向け、精神科病院協会等関係者と協議	指標	災害医療チーム等の受入を想定し、保健所単位で関係機関との連携の確認を行う災害訓練の実施回数	●	
		⑪	災害拠点精神科病院の指定		
L	災害支援ナースの応援派遣を行う仕組みの構築・運用	指標	災害拠点精神科病院の指定	●	
		⑫	災害支援ナース派遣協定締結の医療機関数及び災害支援ナース登録者数の増加		
M	医療コンテナの効果的な活用について、課題を踏まえ検討	指標	災害支援ナース派遣協定締結の医療機関数	●	
		⑬	医療コンテナの活用方法の検討		
		指標	災害支援ナース登録者数		

※●は国の重点目標